



令和2年4月7日
記者発表

“重点「道の駅」”及び“重点「道の駅」候補” 選定証授与について

国土交通省では関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取り組みを平成26年度から実施しています。

令和元年度は、地方創生や地域活性化の拠点を目指した「道の駅」の企画提案を募集し、有識者のご意見を踏まえ、北陸地方整備局管内では、三条市の道の駅「庭園の郷保内」を重点「道の駅」に、長岡市の道の駅「ながおか花火館」を重点「道の駅」候補に選定しました。

については、以下のとおり、選定証授与を行いますのでお知らせします。

重点道の駅候補 道の駅「ながおか花火館」

○日時：令和2年4月9日(木) 14:10～

○場所：アオーレ長岡東棟4階 第一応接室（長岡市大手通1丁目4番地10）

重点道の駅 道の駅「庭園の郷 保内」

○日時：令和2年4月9日(木) 15:20～

○場所：三条市役所 3階第一会議室（三条市旭町2丁目3番地1号）

なお、「ながおか花火館」につきましては新規「道の駅」登録証も授与します。

◆ 国土交通省HP「道の駅」

URL：<http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/index.html>

<問い合わせ先>

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路計画課 課長 一木 慎太郎

新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲町合同庁舎1号館

代表：025-280-8880(内4211) 直通：025-280-8916

<同時発表記者クラブ>

新潟県政記者クラブ、新潟政記者クラブ、新潟市政記者クラブ、長岡市記者会、長岡地域記者会、その他・専門紙

○地域の特性を活かした子育て世代応援事業及びインバウンド観光強化の実施



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
庭園の郷 保内	新潟県	三条市	国道403号	既設	平成28年度	単独型

提案のメニュー

子育て世代応援事業の強化

- ・緑を活かした子育てセミナーやワークショップの充実
- ・親子で参加できるガーデンイベントの開催
- ・そら植物園等と連携したイベントの開催
- ・液体ミルク、紙おむつの販売

保内の産業×子供(花育、木育)

- ・木や植物を活かした子供の遊び場の整備



地域の概要

- ①保内地域は国内有数の植木産業集積地
→植木の品質とともに卓越した造園技術は県内外から高い評価を得ており、技術を活かした新たな事業展開の可能性を持っている。
- ②庭園をテーマとした道の駅
→イベントやワークショップなどを通じて植物や土と触れ合う場を提供することが可能である。

子育て世代の女性を中心に安心して子供と楽しく過ごせる場の提供

- ・授乳室の設置
- ・子供連れに対応したスペースの整備
- ・トイレ内にベビーチェアの設置



インバウンド観光の強化

- ・外国人案内所機能強化
- ・外国人観光客向けワークショップなどの開催
- ・地場製品のPR、販売
- ・植木関連商品の開発、販売

道の駅の機能強化

施設の特徴を活かした独自の子育て支援

植木・庭に対する新たな需要喚起による地元産業の振興

<提案の先駆性・ポイント>

- 幼児・児童期の成長期に情操面の向上が期待され、取組が推奨されている花育や木育などを施設の特徴を活かした様々なワークショップやイベントにおいて先進的に実施することで独自の子育て支援を行う。
- 地場産業を活かした子育て支援により、これからの担う世代に対して庭や植物への関心や興味を持たせることで植木産業の新たな需要を喚起させ、地場産業の更なる振興を図ることができる。
- 外国人観光客向けワークショップやイベントを実施するとともに、植木に関連した商品を開発し販売する。

<実施内容>

- 親子で楽しめる地元産業を活かしたワークショップの充実
- そら植物園、保内園芸組合と連携したガーデンフェスティバルの開催
- 季節ごとに花や収穫が楽しめるガーデンを整備
- トイレ内にベビーチェアの設置
- 授乳室の設置
- カフェに子供連れに対応した小上がりスペースを整備
- ガーデン内に木や植物を活かした子供の遊び場を整備
- 施設インフォメーションの多言語化や外国語対応職員の配置
- 外国人観光客向けワークショップやイベントの実施
- 外国人観光客向けの植木産業を活かした新規商品の開発、販売

道の駅「ながおか花火館」(新潟県長岡市) 企画概要

<新設>

R1重点候補

- 「長岡花火」に込められた慰霊・復興・平和への祈りや花火の魅力や年々を通じて発信する花火ミュージアムの設置
- 「長岡花火」をけん引役として魅力ある地域資源の発信及び連携を生み出すことによる地域全体の活性化・広域観光のけん引
- 国道や高速道路の結節点である好立地を生かした、道路・観光情報発信の長岡市のゲートウェイの形成
- 高速道路からの一時退避の実現を目指し、高速道路の休憩施設(SA・PA)の補完を図る
- 災害発生時の道路利用者一時避難場所や隣接する防災ヘリポートとの連携による災害発生時の防災支援拠点として活用

<地域活性化・広域観光イメージ>

<中ノ島 大鳳> <長岡 火焰土器> <16蔵元の日本酒> <川口 魚野川と信濃川と越後三山>
 <越路 もみじ園> <三島 丸太早切> <山古志 錦鯉>
 <長岡まつり大花火大会(8月2日,3日)>
 <与板 兼続とお船> <栃尾 ジャンボあぶらげ> <寺泊 海水浴場>
 <小国 和紙> <和島 良寛と貞心尼>

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
ながおか花火館	新潟県	長岡市	国道8号	新設	令和2年度	一体型

<道の駅イメージ>

地域振興施設
 ・長岡花火ミュージアム
 ・地場産品販売施設
 ・レストラン
 ・フードコート
 ・日用品等販売施設
 公共電話
 多目的広場
 EVスタンド施設
 駐車場
 至 新潟市
 至 長岡IC
 国道8号
 ヘリポート
 トイレ
 子育て応援施設
 情報・休憩コーナー
 ・道路交通情報
 ・地域情報発信コーナー
 ・公共無線LAN環境(Wi-Fi)
 ・休憩コーナー

<提案の先駆性・ポイント>

- 「長岡花火」に込められた祈りを年間を通して発信し、恒久平和を啓蒙する。
- 「長岡花火」の魅力発信により長岡来訪のきっかけを作り、インバウンドを呼び込む。
- 強力な地域資源をPRし、他の地域資源の活性化を図る。
- 24時間利用可能なトイレ、授乳室、おむつ交換台、子供用トイレ、EV急速充電施設、公共無線LAN等を整備し、様々な人が快適に休憩できる。
- 高速道路の休憩施設(SA・PA)の空白区間を解消する。
- 災害発生時は、陸路と空路をつなぐ災害支援の拠点となる。

<実施内容>

- 「長岡花火」の魅力や年々を通じて発信する花火ミュージアムを設置する。
- 民間活力を利用し、地場産品の販売や地場産食材を使った飲食を提供する。
- 大型モニター等を設置し、道路交通情報や気象情報をリアルタイムで提供する。
- デジタルサイネージ等により、地域情報や観光情報を魅力的に発信する。
- 災害発生時に利用できる非常用電源、非常用トイレ、防災倉庫等を整備し、道路利用者が災害発生時に安心して利用できる一時避難場所としても活用する。